

FIDIC ASPAC クアラルンプール大会報告 「グローバル化した世界における持続性」

日時：平成 23 年 4 月 25 日～（月）26 日（火）
会場：Sunway Resort and Spa,
マレーシア国クアラルンプール市
参加人数：アジア・太平洋地域の 15 ヶ国から
約 200 名 及び FIDIC 会長他

はじめに

FIDIC アジア太平洋地域会員協会連合 (ASPAC) は FIDIC 大会の他に、ASPAC 加盟国での会議を毎年開催しています。今年は旧宗主国である英国の影響を受けた美しい街並みが印象的なクアラルンプールで 2011 年 4 月 25 日、26 日の 2 日間に亘り、「グローバル化した世界における持続性」と題して開催されました。



参加者は約 200 名。日本からは、廣谷彰彦 FIDIC 理事、内村好 ASPAC 理事・AJCE 副会長、山下佳彦 AJCE 事務局長が参加しました。その他 Gregs Thomopoulos FIDIC 会長、Adam Thornton FIDIC 理事、Jae-Wan Lee FIDIC 理事、Enrico Vink 専務理事、Dennis Sheehan ASPAC 議長なども参加しました。

なお、本大会は、TCDPAP（国連アジア太平洋地域の技術コンサルティング開発プログラム）との共催です。



大会概要

今年の大会では、2 日間に亘り 1 枠 20 分程度のプレゼンが 26 件あり、日本からは廣谷彰彦 FIDIC 理事、内村好 ASPAC 理事・AJCE 副会長が発表を行いました。発表の内容は参加国の産官における持続可能な開発に関する取り組みが 11 件、メインテーマを受けた技術的な話題（環境に配慮した技術や事例、人口増加に対応した課題と対策、自然・再生可能エネルギーの活用等）が 15 件で構成されていました。

1. 内村好 ASPAC 理事・AJCE 副会長 『東日本大震災報告 他』

内村好副会長は東日本大震災、日本の CE 業界の動向、2010 年度 AJCE 活動を報告しました。発表を受けて、FIDIC 会長始め出席者から震災への見舞いと励ましを頂きました。



2. 廣谷彰彦 FIDIC 理事

『Development of Renewable Energy in Japan』

廣谷 FIDIC 理事は、日本のエネルギー利用の現状、日本における再生可能エネルギー技術等について発表しました。東日本大震災に関しては、日本人の「和」、「もったいない精神」が復興に向けた基本姿勢であることを強調しました。



ASPAC 会議

大会のプログラムとは別に、4 月 25 日 17:00-18:00 に亘り ASPAC 会議が開催されました。D. Sheehan ASPAC 議長、内村好 ASPAC 理事をはじめ、ASPAC 加盟 10 ヶ国から 20 名、FIDIC から G.Thomopoulos FIDIC 会長、廣谷彰彦 FIDIC 理事、E.Vink FIDIC 専務理事等 計 5 名が出席しました。会議では、加盟国の Country Report 報告、FIDIC Davos 大会での



ASPAC 総会開催の確認、次回 ASPAC 大会の開催地の検討などが議題となりました。